

## 無力じゃない

長老のカラスがドスを効かせて  
緑の薫風が懸命に追いかけてきて  
ゆったりと世界を見まわる太陽がいつになく早口で  
「そこのあなた」と呼び止める  
「何かできるでしょう」と続ける

ハッとする  
何もできないと決め込んでいた自分  
遠いよその国のことだからと  
あわてて指を折る  
いっぱいあるじゃないか やれることが

想像力を働かせること  
自身や愛する人がウクライナの大地に在るとしたら  
脳裏の大スクリーンいっぱいに浮かぶはず  
逃げ惑う人々のあいだに自分たちも そして聴こえてくる  
遠く近くの銃声と炸裂音 ガレキの奥から母を呼ぶ幼子の泣き声

本当のことを見きわめること  
毎日のように情報が上書きされる  
情報の源には少しばかり神経質に  
大切なのは自分で嗅ぎ分けること  
事実だけでなく 真実を

心を言葉にすること  
言葉に出すことで共感が近づいてくる  
つぶやきは行動の源泉  
国際 NGO を通せば 募金だってメッセージだって託せるはず  
悲惨さや理不尽さを言葉で交わすのも連帯の証

第二次世界大戦が終わってからのこと  
殺し合いをくぐってきた人たちは、若者に告げた  
「先の大戦は君たちに責任はない。でも繰り返してはならない責任はある」と  
あっけなく砕かれてしまった  
それでもあきらめてはならない

「あきらめない」を裏打ちしてくれるものがある  
それは気づく力  
戦争がどんなに恐ろしいことか  
戦争がどんなに愚かなことか  
戦争に真の勝者がいないことを

無力じゃない 私たちは  
無力じゃない どんなに隔たっていても  
無力じゃない 相手がだれであろうと  
国境を越え始めている 「無力じゃない」の塊が  
もう呼び止められることはない